事業収益				
運営費交付金収益	115,220,477,030	12,040,366,384	5,787,695,292	133,048,538,706
補助金等収益	0	27,078,244	0	27,078,244
資産見返負債戻入	6,476,788,980	957,771,481	157,292,244	7,591,852,705
その他	3,329,262,859	937,931,347	2,453,065	4,269,647,271
計	**125,026,528,869**	**13,963,147,456**	**5,947,440,601**	**144,937,116,926**
事業損益	**456,629,392**	**228,973,784**	△ **44,950,879**	**640,652,297**
Ⅱ総資産				
建物	412,641,728	13,866,028,384	2,235,192,087	16,513,862,199
機械装置	8,728,057,351	172,961,819	246,958,371	9,147,977,541
工具器具備品	7,421,017,092	1,055,974,200	219,099,504	8,696,090,796
土地	0	8,469,700,000	1,002,800,000	9,472,500,000
開発委託金	18,496,857,419	0	0	18,496,857,419
開発委託金回収債権	10,344,724,493	0	0	10,344,724,493
その他	7,423,797,688	1,822,160,579	50,965,785,615	60,211,743,882
計	**52,827,095,771**	**25,386,824,982**	**54,669,835,577**	**132,883,756,330**

㈱1．事業の種類の区分方法及び事業の内容は次のとおりである。

①事業の種類の区分方法は、中期計画に基づく区分による。

②各事業の内容

【科学技術イノベ創出推進】　科学技術イノベーション創出の推進

【科学技術基盤形成】　科学技術イノベーション創出のための科学技術基盤の形成

2．事業費用のうち、配賦不能事業費用は「法人共通」項目に含めている。なお、その主なものは一般管理業務に係る費用である。

3．事業収益のうち、配賦不能事業収益は「法人共通」項目に含めている。

4．行政サービス実施コスト計算書に記載している損益外減価償却相当額、損益外減損損失相当額、引当外賞与見積額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は以下のとおりである。

（単位：円）

	科学技術イノベ創出推進	科学技術基盤形成	法　人　共　通	合　　計
損益外減価償却相当額	2,092,534,127	811,153,726	108,156,236	3,011,844,089
損益外除売却差額相当額	5,514,527,011	3,258	35,618	5,514,565,887
引当外賞与見積額	△ 10,184,827	△ 2,314,174	△ 1,779,632	△ 14,278,633
引当外退職給付増加見積額	△ 1,004,215,786	△ 228,175,708	△ 175,470,313	△ 1,407,861,807

5．科学技術イノベ創出推進事業における、減価償却費見合いの前中期目標期間繰越積立金取崩額267,518円があり、これを考慮すると科学技術イノベ創出推進事業の事業損益が456,896,910円となる。

6．資産は期末簿価で表示している。